医療法人社団日高会
日高病院

病診連携通信

Information

No.41～ No.60

H20.6.10 ～H22.12.20

病診連携通信 No.41 ～ No.60

Information

No.	発行日	主な内容
No.41	平成20年06月10日	腹部大動脈瘤の治療 ステントグラフト治療
No.42	平成20年07月05日	婦人科外来開設/DPC対象病院/
No.43	平成20年08月15日	第10回機能的脳外科疾患定位手術トレーニング開催/ガンマナイフ
No.44	平成20年09月30日	大野先生(心臓血管外科)入職/64列マルチスライスCT導入
No.45	平成20年10月20日	公開臨床研修医検討会/メタボ・糖尿病治療センター市民講演会
No.46	平成20年11月30日	臨床研修委員会講座/臨床病理検討会/PET-CTのお知らせ
No.47	平成20年12月20日	IAEA理事視察/H20.主な動き
No.48	平成21年01月12日	腎臓内科溜井先生入職/認定看護師紹介/生活習慣病予防後援会
No.49	平成21年02月28日	腫瘍センター 外務大臣から感謝状/腫瘍センター治療実績
No.50	平成21年04月30日	新入職常勤医師紹介/化学療法センター長就任
No.51	平成21年06月10日	病診連携室長/認定看護師の紹介
No.52	平成21年08月27日	緩和ケアチーム紹介/医療連携アンケート結果/臨床病理検討会
No.53	平成21年10月30日	メタボ・糖尿病治療センター フットケア外来、ヘルスアップランチ会
No.54	平成22年02月08日	新病棟開設/心臓血管外科 胸痛外来・心雑音外来 開設
No.55	平成22年04月03日	施設アンケート/災害医療訓練/腫瘍センター活用術
No.56	平成22年05月31日	平成日高クリニック 免疫細胞療法開始
No.57	平成22年07月25日	形成外科 外来開設/診療部モーニングカンファレンス
No.58	平成22年08月10日	がん何でも相談窓口開設/腫瘍センターについて
No.59	平成22年10月27日	慢性腎臓病の地域連携について
No.60	平成22年12月20日	腫瘍センター特集/がん検診のおすすめ

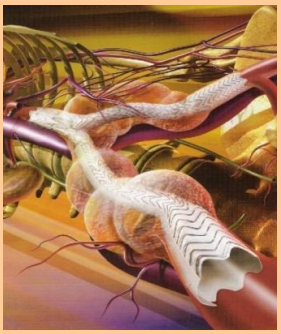
高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

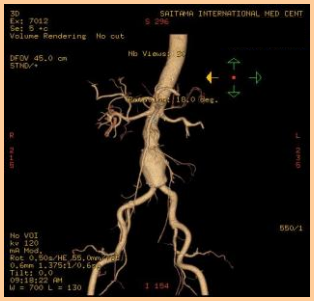
病診連携通信

No41
平成20年6月10日
日高病院病診連携室発行

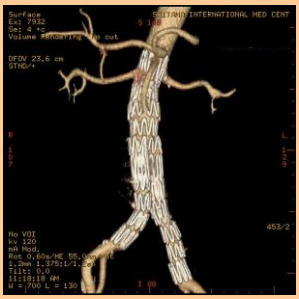
腹部大動脈瘤の治療
～ステントグラフト療法～



ご存知のように、腹部大動脈瘤の治療としては、開腹外科手術が主流でした。しかし、最近では、ステントグラフトを用いた経カテーテル的血管内治療が臨床導入され、外科手術にみられる問題点を解決する低侵襲治療が注目されています。 血管疾患部ステントグラスを留置し新たな血流路を確保することにより動脈瘤を排除（血流から遮断）する方法です。全身麻酔、部分麻酔又は局所麻酔下で行われ、手術に概ね1～3時間を要します。入院期間は1週間以内と短期間で、通常では手術後1ヶ月以内で日常生活への復帰が可能です。
術後のフォローアップは、通常1ヶ月、6ヶ月、その後は1年毎となります。



治療前



治療後

（血栓が写っていないですが、実際の瘤はこれより大きいです）

紹介から手術までの流れ

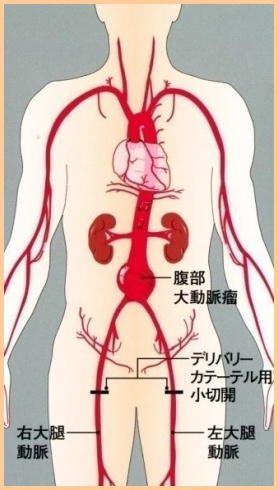
- 日高病院　心臓血管外来受診
- 診察・検査で手術適否を判断
- 入院日決定
- 埼玉医科大学に入院・手術
- 退院後は日高病院で外来フォロー
- かかりつけ医の先生に逆紹介

＊将来的には当院で手術できるよう準備をすすめております

◎ステントグラフトについて

ステントグラフトの各パーツ、つまりメインボディーと対側レッグは、デリバリーカテーテルとの先端に圧縮・装着され血管内に挿入されます。 手術前に大動脈の診断及び測定（ CT・血管造影など ）を行って動脈瘤の状態を確認し解剖学的に適合する適切なステントグラフトを選択します。

左記図は、エクスクルーダーが搬送され開放される状態を表したもの。 メインボディーは既に開放されている。対側レッグはメインボディーに挿入しようとしている状態である。



上記はデリバリーカテーテルの挿入部位

心臓血管外科外来（第4週金曜日の午前）

埼玉医科大学教授
埼玉医科大学国際医療センター
心臓血管外科　診療科長　新浪　博教授

【ご経歴】

昭和62年	群馬大学医学部卒業
	東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所　入局
平成1年	米国 Wayne State University 留学
平成3年	東京女子医科大学大学院博士課程　修了
平成7年	豪州　Alfred Hospital　留学
平成8年	豪州　Royal North Shore Hospital　留学
平成16年	順天堂大学医学部心臓血管外科　助教授
平成19年	埼玉医科大学病院心臓血管外科　教授
	埼玉医科大学国際医療センター
	心臓血管外科　教授

地域医療支援病院　講演会　　6月26日（木）18:30～　於：日高病院
【腹部大動脈瘤を治療する最新の治療】

新浪　博教授がこのｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ療法を手がけています。講演会では、具体的な事例を通して療法のご紹介を致します。
将来的には、日高病院でもこの療法を取り入れられるように、心臓血管外科ﾁｰﾑが準備をしております。

お問い合わせは病診連携室へ　TEL027-362-6201

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ42
平成20年7月5日
日高病院病診連携室発行

婦人科外来を開設いたしました

神岡　順次
群馬大学（34年卒）
日本婦人科学会産婦人科専門医
日本医師会認定産業医

	月	火	水	木	金	土
午前				ドック	ドック	
午後	外来		外来	外来	外来	

6月より婦人科外来を担当することになりました。婦人科全般にわたって診療していゆく所存でございます。
今後以下のような診療を提供させて頂きます。

【ホルモン療法】
不正出血、月経異常、更年期障害（ホルモン補充療法）、生理日の移動（旅行、入試、海水浴、温泉旅行など）
ピルによる避妊及び避妊指導、更年期障害など

【STD（性感染症）診断と治療】
経膣エコー検査（子宮筋腫、卵巣腫瘍、妊娠初期診断など）
子宮内膜細胞診、子宮頚部細胞診、病理組織診

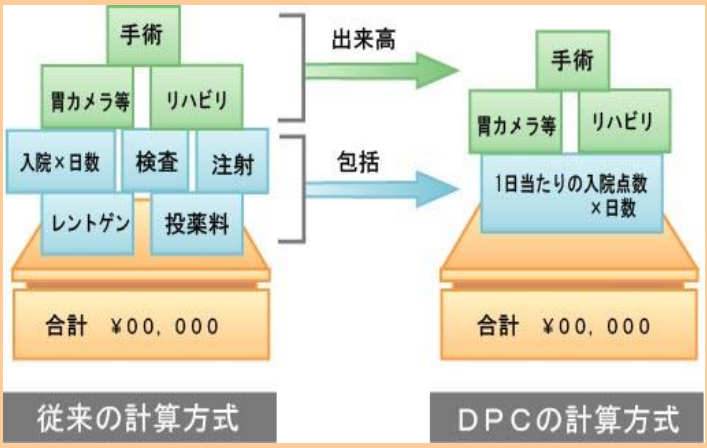
【手術】
外来で可能な手術に限られます。

以上、この限りではありませんが都度ご相談をお願い致します。ご要望にお応え出来るように致します。

ご相談は、病診連携室までお願い致します。
TEL：027-362-6201　FAX：027-362-0217

7月からDPC対象病院になりました

当院は、7月からDPC対象病院となります。『DPC』とは医療行為ごとの料金をもとに、請求を算出する従来の『出来高払い方式』とは違い、入院される患者様の疾患や病状をもとに1日当たり定額の点数を基本に、包括で医療費を計算する方法です。1日あたりの定額点数は、診断群分類（約1700分類）と呼ばれる区分ごとに、入院日数に応じて定められています。また、この1日当りの定額点数に含まれているのは、入院基本料や検査、投薬、注射、処置、画像診断などの項目です。（一部除かれるものもあります）



手術やリハビリ、その他一部を除くものについては、従来通りの『出来高払い方式』により算定します。
現在、約700病院が既にこれらの、算定方式で請求をしています。
今後、急性期病院はこのDPCによる算定方式に移行するものと考えられ、結果的に在院日数の短縮化などが更に顕著になると予想されます。地域診療所の先生方や患者様にご理解を頂けるよう努めまいりたいと考えております。

＊DPCとは、Diagnosis Procedure Combinationの略語です。

今後の講演会の予定・お知らせ

- 『地域医療で支える在宅ホスピスケア』 緩和ケア診療所・いっぽ　緩和ケア認定看護師　津久井　利恵先生
  日時：平成20年7月31日（木）　18:30～19:30　　場所：日高病院　6階大会議室
- 群馬大学医学部保健学科　神田　清子教授に監修して頂き、がん相談を開始致しました。ご連絡は連携室へ。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ43
平成20年8月15日
日高病院病診連携室発行

第10回機能的脳外科疾患定位手術トレーニングを開催いたします

平成20年9月1日・2日・3日開催
お申し込みは病診連携室へ
電話：027−362−6201
1日参加や手術見学のみも可能です

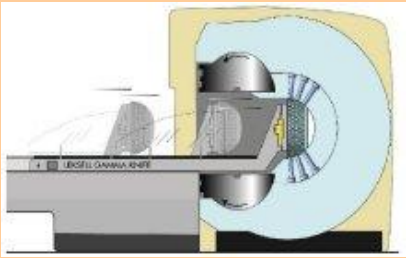
9／1（月）	午前	「定位脳手術の総論」 日高病院腫瘍ｾﾝﾀｰ長　大江千廣先生
		「運動の神経回路」 鈴鹿医療医科大学保健衛生学部長　中野勝磨先生
		「PPNの構造と機能」 群馬中央脳神経外科病院副院長　松村賢先生
		「脳深部電気刺激法」 日本大学病院脳神経外科教授　片山容一先生
	午後	「視床機能分化」 日高病院腫瘍センター長　大江千廣先生
		「定位脳手術の実際　三叉神経痛・てんかん」 東京女子医科大学脳外科教授　堀智勝先生
9／2（火）	午前	「定位脳手術の実際　視床手術」 日高病院腫瘍センター長　大江千廣先生
		「レクセルガンマナイフによる視床手術」 日高病院脳神経外科医長　柴崎徹先生
	午後	「随意運動の神経機序」 東京医科歯科大学神経機能学教授　篠田義一先生
		「パーキンソン病の基礎と臨床」 群馬大学神経内科教授　岡本幸一先生
9／3（水）	終日	機能的疾患手術見学

日高病院では、ガンマナイフが設置されて以来、従来の極小電極による定位脳手術と並行して、機能脳外科の治療にも力を注いで満足すべき成果をあげてきました。機能脳外科はご存知の通り、パーキンソン病をはじめとする不随運動、疼痛、てんかん等の機能疾患を対象として、定位脳手術の方法による治療法です。この手術では、脳の深いところにある異常な神経細胞群を正確にとらえ、小さな凝固、あるいは照射を行うこと、または電気刺激を与えることが治療になっています。
この勉強会のはじめはガンマナイフを備えた施設の若い医師を対象とした、トレーニングの意味が強かったですが、徐々に参加者の層が広がり、機能脳外科に関心を持つ一般の医師、大学院生、技術者も参加されるようになっています。国内の参加のほかに韓国、中国からの参加もありました。最近は更に範囲を広げて、地域医療にかかわる先生方にも気軽に参加していただけるように配慮しています。この研修会は、国内はもちろんのことアジア諸国、更に世界の医師や患者様を視野に入れたレベルの高いものです。ふるってご参加頂ければ幸甚です。

日高病院腫瘍センター長
大江　千廣

日高病院腫瘍センターの機能 ～ｶﾞﾝﾏﾅｲﾌについて～

ガンマナイフ治療｜「頭を切開せずに脳血管障害や脳腫瘍を治療する方法」



ｶﾞﾝﾏﾅｲﾌは、ｶﾛﾘﾝｽｶ大学脳外科のﾚｸｾﾙ教授によって開発されました。具体的には、201の細かいﾋﾞｰﾑ（ｺﾊﾞﾙﾄ60）を虫眼鏡の焦点のように病巣部にのみ照射する治療法です。適応病名としては、『聴神経腫瘍』『髄膜腫』『下垂体腫瘍』『転移性脳腫瘍』などです。また、『脳動静脈奇形』にも高い効果があります。

ガンマナイフ治療の仕組みと特徴｜

ｶﾞﾝﾏﾅｲﾌ本体には、頭部に装着されたｺﾘﾒｰﾀﾍﾙﾒｯﾄ（左記写真）の201個の穴を通じてｺﾊﾞﾙﾄ60から発生するｶﾞﾝﾏ線が病巣部に集中照射されます。照射時に貫通する頭皮、骨、脳、血管、神経への影響は少なく、照射を受けた病巣のみが徐々に凝固・壊死します。更に、照射の誤差は±0.5㎜と高精度であるため、正常組織にほとんど影響を与えません。 しかし、病巣の大きさや位置、種類によってｶﾞﾝﾏﾅｲﾌによる治療が適している場合と、開頭手術が適している場合がありますので総合的な判断が大切になります。

ご相談窓口は病診連携室です。お気軽にお問い合わせください。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ44
平成20年9月30日
日高病院病診連携室発行

大野英昭先生（心臓血管外科）が入職いたしました

おおの　ひであき
大野　英昭
日本大学（昭和61年卒）
心臓血管外科専門医
日本胸部外科学会指導医
日本循環器学会専門医
外科専門医

1986年　東京女子医科大学病院　心臓血管外科入局
1987年　群馬循環器病院　心臓血管外科勤務
1989年　仙台循環器病ｾﾝﾀｰ　心臓血管外科勤務
1992年　東京女子医科大学心臓血圧研究所　助手
1993年　国立療養所東長野病院　心臓血管外科医長
1995年　綾瀬循環器病院　心臓血管外科勤務
1997年　国立病院機構横浜医療センター　心臓血管外科医長
2006年　関越中央病院　心臓血管外科部長・ICU部長

【ご挨拶】

今年9月より心臓血管外科医長、ハートセンター センター長として着任いたしました。 卒業後、東京女子医科大学心臓血圧研究所（現心臓血管外科）で修練を積んでまいりましたが、ご縁があり日高病院のハートセンター設立を任されました。診療科の縦割りをなくし、循環器科・心臓血管外科・看護部・ME・リハビリテーション科がチーム一丸となり診療にあたります。

県内最大の透析施設を有する日高病院に循環器チームが必要なことは当然の流れでしょう。今後は、24時間腎不全ハイリスク患者に対応できる施設として、当院ハートセンターが循環器救急医療をバックアップできれば幸いでございます。

地域の先生方のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【今後の動き・治療方針など】

今年10月から64列MDCTが導入され、外来でも冠動脈の評価が可能となりました。24時間体制での緊急の診断も可能です。

年内にはハード面での整備（ICU・手術室改修、人工心肺装置およびPCPSの導入）を完了します。今後、人工心肺を使わない低侵襲冠動脈バイパス手術（OPCAB）を標準手術として提供し、ハイリスクな大動脈疾患患者へのステント治療なども埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科教授 新浪 博先生の指導のもと、速やかに対応できるよう体制を整えております。

64列ﾏﾙﾁｽﾗｲｽCT　TOSHIBA　Aquilion64　を導入いたしました

- 広範囲かつ高解像度撮影技術により0.5mmで全身高精細撮影が可能です。
- 最新被曝低減技術により安全・安心に検査を受けていただけます。

- ﾘｱﾙﾀｲﾑｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞにより最適撮影、造影ﾀｲﾐﾝｸﾞができ造影剤の使用量が低減します。
- 超高速ｽｷｬﾝｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝにより、心臓CT造影時相分離が可能です。

CT・MRI検査予約専用ダイヤル
027－362－2992（放射線科直通）
予約は随時承ります。ご利用ください。

臨 床 病 理 検 討 会 の お 知 ら せ　（お問合せは連携室まで）

日時：平成20年10月7日（火）　18：00～19：00　　場所：日高病院 6階大会議室
病理医：群馬大学大学院病病態病理学教授　中里　洋一先生
臨床診断病名：膀胱腫瘍（60歳代　女性）　　臨床医：日高病院泌尿器科　中嶋　仁先生

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ45
平成20年10月20日
日高病院病診連携室発行

平成20年　公開臨床研修検討会（CPC）実績

開催日	年齢	性別	症　例	参加人数
4月21日	60歳代 70歳代	男性 女性	左後腹膜膿瘍 肝細胞癌	66名
5月26日	70歳代 70歳代	女性 男性	クモ膜下出血　DIC 多臓器不全	48名
7月29日	50歳代	男性	気道閉塞による呼吸不全	51名
10月7日	60歳代	女性	膀胱癌	58名

平成20年10月7日開催のCPC
病理医：群馬大学　中里　洋一教授

当院では、臨床研修検討会（CPC）を約2ヶ月に1回定期的に開催しております。臨床研修検討会は、複数の臨床科と病理医や検査医が合同で行う討論形式の症例検討会です。症例の診断に至るプロセスの合理性、治療の妥当性、画像や検査所見の整合性や矛盾点などを議論します。こうした、症例検討会は典型的でも希少例でも患者様のアウトカムの分析のために非常に有用であると考えております。

画像診断方法や検査が発達した現在では、臨床診断が根本的に覆されることは稀であるかもしれませんが、原疾患に関連した合併症や偶発性病変を通じて生前には把握しきれなかった変化や、死因に直結する病態、生前には見逃されていた可能性のある微妙な画像所見の意味づけや検査値の異常の合理的な解釈がなされることがあります。 今日、多くの医療機関で病理解剖が減少していきている中で、臨床病理検討会は医学の向上に貴重な材料になるのではないでしょうか。

本年12月にも群馬大学病理学　中里洋一教授にご指導いただき、臨床研修検討会を催す予定でおります。地域の先生方にもご参加いただき有意義な検討会となるよう努力をして参りたいと考えております。

ﾒﾀﾎﾞ・糖尿病治療ｾﾝﾀｰで市民講演会を開催いたしました。

平成20年9月20日（土）に市民向け講演会【聞いて安心わかりやすいメタボ撃退法】を開催致しました。
同講演会には、地域住民60名が参加し肥満や糖尿病、食事の留意事項等、当院の下村洋之助センター長が分かりやすく丁寧にお話されました。
講演後には、糖尿病療養指導士らが血圧測定、栄養相談、運動療法などブースを設置し熱心に、分かりやすく市民の方々に説明をしていました。

今後は、各地域の公民館などを会場にして糖尿病予備群と言われる方々に啓蒙活動し講演会の参加を通じて意識を高めて頂けるよう努力をしてまいります。

日高リハビリテーション病院における摂食・嚥下外来、装具外来のお知らせ

同グループの日高リハビリテーション病院で、摂食・嚥下外来と装具外来を開始致しました。

摂食・嚥下外来・・・嚥下造影検査（VF）嚥下内視鏡検査（VE）で嚥下状態の評価をして専門的なリハビリを実施致します。

装具外来・・・装具の不具合についてﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医がご相談をお受け致します。（理学療法士や義肢装具士も同席します）

摂食・嚥下外来　診察日	月・水・木曜日・第1・3土曜日午前中
装具外来　診察日	毎週火曜日午後3時から午後4時

お問合せ先：日高ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院
電話：027-388-2005　相川・佐藤

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ46
平成20年11月30日
日高病院病診連携室発行

臨床研修委員会主催の医学生向け講座を開催しました

ﾒｲﾖｰｸﾘﾆｯｸ ｼﾞﾑ･ｼｭﾒﾙｻﾞｰ教授と安藤院長(懇親会場にて)

当院では、初期研修の海外研修として、毎年メイヨークリニック(アメリカ)とカルガリー大学(カナダ)の視察研修を実施しております。 その関係で、10月24日にメイヨークリニックの神経内科助教授 ジム・シュメルザー先生に来日して頂き、医学生向けの講座を実施致しました。群馬大学医学部学生をはじめとして県外の大学からも聴講希望があり、とても好評でした。

また、今回はカルガリー大学の神経内科教授ダグラス・ザッカッドニー先生による医学生向け公開講座を11月21日に行いました。ご夫妻で来日されたため、奥様のバーバラ・ザッカッドニー(看護師)先生に『カナダにおける看護システムの現状』と題して地域医療機関向けに講演会を実施致しました。看護学校教育関係者をはじめ多くの参加があり、大変刺激になったと感想を話されていました。今後も魅力ある公開講座を企画し、微力ながら群馬県に多く研修医を迎えることができるよう、尽力してまいりたいと考えております。

ﾊﾞｰﾊﾞﾗ･ｻﾞｯｶｯﾄﾞﾆｰ先生講演会の様子(左写真)

ｶﾙｶﾞﾘｰ大学ﾀﾞｸﾞﾗｽ･ｻﾞｯｶｯﾄﾞﾆｰ教授講義の様子(右写真)

～臨床病理検討会(CPC)のお知らせ～

日時:平成20年12月4日(木) 18:30～19:30 場所:日高病院 6階大会議室

病理医:群馬大学大学院病病態病理学教授 中里 洋一先生

臨床診断病名:転移性肝細胞癌(70歳代 女性) 臨床医:日高病院内科 角田 毅先生

～腫瘍センター(PET／CT)についてお知らせ～

検査による苦痛はほとんどなく
約2時間で全身のがん検査が可能です。

PETとは「ポジトロン断層撮影法」と呼ばれる画像診断です。がん細胞の代謝機能を調べることで、早期にがんの発見ができる検査です。 がん細胞は正常細胞の3～8倍ものﾌﾞﾄﾞｳ糖を摂取特徴を利用し、ブドウ糖によく似た薬剤(FDG)を注射し、FDGが病巣に多く集積することによって微小ながんも画像に写し出します。PETとCTが一体型となったPET-CTでは、PETによる生体の機能画像とCTによる病態画像を重ね合わせた鮮明な画像を一度で撮影できるため、病変部の位置や正確な診断を速やかに行うことができるようになります。2次元、3次元の併用などフレキシブルな画像処理によって、微小ながんの発見や良性・悪性の適切な診断が可能でより正確な治療への貢献を致します。

日高病院腫瘍センターでは以下のサービスをご提供させていただいています

- ***訪問説明サービス***

  初めての診察や検査を受けるにあたって、患者様が不安になってしまうケースもあるようです。
  この様な、患者様に検査手順など説明をさせて頂いたり、パンフレットなどをお持ちして施設説明などをさせて頂くサービスです。

- ***送迎サービス***

  患者様がPET/CT検査などを受ける際、ご家族等がどうしても送迎できない場合もご相談ください。
  ご指定の場所までお迎えに伺わせていただきます。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ47
平成20年12月20日
日高病院病診連携室発行

平成20年12月3日　IAEA（国際原子力機関）の理事が視察来院

国際原子力機関（IAEA）のアフガニスタン、ウルグアイ マレーシア三カ国の大使が当院に来院しました。来院の目的は、日本の原子力平和利用を知ってもらう為の外務省事業の一環で、本年1月に続いて2度目の視察です。
次期、IAEA事務局長に日本から立候補している天野ウィーン国際機関日本代表部大使が同行して当院の最新放射線治療器【トモセラピー】や【ガンマナイフ】などをご案内致しました。

大使らは同日、群馬大学において【先進的がん放射線医療ワークショップ】に参加した後、同大学放射線部や来年度に稼働予定の重粒子センターを見学しました。

IAEA（国際原子力機関）とは・・・
原子力の平和使用を目的に1957年に設けられた国際機関。現在の加盟国は144カ国で本部はウィーンにあり、事務局長はエルバラダイ氏（エジプト）。　原子力軍事利用を防ぐことも大きな目的としており、北朝鮮の核施設の停止問題においても検証のため監視要員を現地に派遣した。原子力事故やや健康被害などを防ぐための安全基準を設定できる権限を持っている国際的に重要な機関である。

群馬大学放射線科　中野教授が当院の腫瘍センターを説明している様子

～本年も大変お世話になりました～

本年も大変お世話になりました。
先日、小学5年生の我娘のクラスではサンタクロースの存在を半数の児童が信じているらしく、眼を輝かせながら「私も信じている」と言っていました。私は、「今年は不景気だからサンタさんも来ないかもね」と話すと「不景気って何？」と切り返されてしまいました。100年に一度と言われている世界同時不況の中で、来年以降さらに日本でも実態経済に大きな影響があるとの話しを耳にします。医療業界も対岸の火事ではなく、新年と同時に正念場を迎えることなりそうです。来年も「患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する」を実践してまいりたいと思います。　1年間本当にありがとうございました。

編集部：JH

月	平成20年　日高病院の主な動き
1月	IAEA（国際原子力機関）のｱﾙｼﾞｪﾘｱ・ｴﾁｵﾋﾟｱ・ｶﾞｰﾅ・ﾅｲｼﾞｪﾘｱ大使が腫瘍センターを視察する。
4月	4名の臨床研修医を迎えて、臨床研修管理病院として本格的な研修体制となる。
6月	メタボ・糖尿病治療センターを開設。糖尿病ｻﾎﾟｰﾄﾁｰﾑも本格稼働する。顧問：小林功先生　ｾﾝﾀｰ長：下村洋之助先生
7月	神岡順次先生が入職し婦人科を標榜する。
	DPC準備病院からDPC対象病院となる。
9月	心臓血管外科の大野英昭先生が入職し、ハートセンターを開設する。　また、64列ﾏﾙﾁｽﾗｲｽCTを導入する。
11月	ｼｭﾒﾙｻﾞｰ教授（ﾒｲﾖｰｸﾘﾆｯｸ）ｻﾞｯｶﾞﾄﾞﾆｰ教授（ｶﾙｶﾞﾘｰ大学）に来日。医学生向、地域医療機関向け講演会を開催する。
12月	IAEA（国際原子力機関）のｱﾌｶﾞﾆｽﾀﾝ・ｳﾙｸﾞｱｲ・ﾏﾚｰｼｱ大使が腫瘍センターを視察する。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ48
平成21年2月12日
日高病院病診連携室発行

腎臓内科　溜井　紀子先生が入職いたしました

主に、腎炎・腎不全・透析など腎疾患全般の診断加療を行っております。
また、高血圧や、体液・電解質異常も診察致します。かかつりけ医の、
先生方とともに早期の腎症を加療し、腎不全の進行を抑えたいと考えて
おります。入院などを含めてご相談頂ければ幸いでございます。
今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

2003年　東京女子医科大学卒業
　　東京女子医科大学腎臓内科入局
2006年　済生会川口総合病院　腎臓内科
2009年　日高病院　腎臓内科

このような症状の際はご紹介ください・・・

- 蛋白尿・血尿など尿所見異常
- eGFR60ml／min／1.73㎡以下
- 電解質異常
- コントロール不良の高血圧

当院認定看護師の紹介

皮膚・排泄ケア（WOC）認定看護師は、Wound（創傷）・Ostomy（オストミー：人工肛門・人工膀胱）・Continence（失禁）の3領域のケアを専門とする看護師です。具体的には、褥瘡や手術離開創をはじめ、瘻孔、PEG、下腿潰瘍等の創傷管理のほか、ストーマ造設患者様の術前から社会復帰後に至るケア、排泄障害のある患者様のケア（尿・便失禁に伴うスキントラブルの予防や治療的スキンケア、自己導尿指導など）を行います。
現在は、医師や看護師から相談のあった患者様に対し直接的ケアを行うほか、スタッフに対しても指導的関わりを持つなど、院内において、組織横断的に活動しています。相談内容は、褥瘡ケアに関するものが多く寄せられます。それらについて、褥瘡対策委員と連携を図り回診で局所管理を行っています。また、褥瘡は全身管理も必要であるため、NSTの介入やリハビリスタッフによるポジショニング指導を依頼するなど関係職種や委員会と協働しチーム医療を実践しています。現在は、院内活動が中心ですが今後は地域の方々からのご相談にも対応していけるよう準備をしています。

ｻﾄｳ　ﾅｵﾐ
佐藤　名帆美

1999年
日高病院　入職

2008年
皮膚・排泄ｹｱ認定
看護師資格取得

生活習慣病予防　講演会開催

平成21年2月9日（月）に高崎市北ブロック区長会において、ﾒﾀﾎﾞ・糖尿病治療ｾﾝﾀｰ長の下村洋之介先生が「生活習慣病予防について」と題して講演を行いました。50名の区長様が熱心に先生の話しを聞き、自分の身長と理想体重を計算するなど、日常生活に役立つ講演会であったという声も聞かれとても好評でした。

～臨床病理検討会のお知らせ～

日　時：平成21年3月3日（火）　18時30分から19時30分
場　所：日高病院　6階大会議室
症　例：60歳代 女性　原発不明癌
臨床医：日高病院内科　角田　毅先生　　病理医：群馬大学病態病理学教授　中里　洋一先生

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信（号外）

Ｎｏ49
平成21年2月28日
日高病院病診連携室発行

日高病院腫瘍センター、外務大臣から感謝状

～国際原子力機関（IAEA）理事の受け入れ・原子力平和利用が評価され中曽根外務大臣から感謝状授与～

表彰後に外務大臣執務室にて中曽根大臣と撮影
後列左から
国立大学法人群馬大学　谷本　雅男理事
医療法人社団日高会日高病院　安藤　義孝理事長
国立大学法人群馬大学　鈴木　守学長
国立大学法人群馬大学放射線科　中野　隆史教授

外務省より、日本の放射線治療分野で最先端の治療、研究、人材育成で日本をリードしている群馬大学、日高病院に国際原子力機関（IAEA）大使や理事による当院腫瘍センターの視察要請がありました。

平成20年1月30日にｱﾙｼﾞｪﾘｱ・ｴﾁｵﾋﾟｱ・ｶﾞｰﾅ・ﾅｲｼﾞｪﾘｱ12月3日にｱﾌｶﾞﾆｽﾀﾝ・ｳﾙｸﾞｱｲ・ﾏﾚｰｼｱまた本年1月21日にはｱﾙﾊﾞﾆｱ・ﾌｨﾘﾋﾟﾝ・ﾒｷｼｺ・ﾘﾄｱﾆｱの大使ら１１名が3回にわたりお見えになりました。

群馬大学放射線科・重粒子センターを中心としたがん治療ネットワークにおける当院腫瘍センターの放射線治療機器『ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰ』『ｶﾞﾝﾏﾅｲﾌ』を視察していただき有意義かつ有益であるとの評価を頂戴しました。

本年2月9日（月）に国立学校法人群馬大学 鈴木学長他の出席者とともに、医療法人社団日高会 安藤理事長が、外務省の中曽根弘文大臣から感謝状が授与され、当会開設以来最も記念すべき日となりました。

【外務大臣感謝状授与式の出席者】（団体名50音順）
国立大学法人群馬大学　鈴木　守学長
電気事業連合会　森本　宜久副会長
独立行政法人日本原子力研究開発機構　岡崎　俊雄理事長
医療法人社団日高会日高病院　安藤　義孝理事長
独立行政法人放射線医学総合研究所　米倉　義晴理事長

感謝状を授与される安藤理事長

この度は、大変名誉な感謝状を賜り恐縮していると同時に、社会に対する大きな責務を感じております。
今後も医療法人社団日高会が、微力ながらがん治療に貢献できるよう精進してまいる所存でございます。
今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

医療法人社団日高会
理事長　安藤　義孝

【腫瘍センターの治療実績】

ガンマナイフで治療した人数	
平成19年	184名
平成20年	172名

トモセラピーで治療した人数	
平成19年	144名
平成20年	204名

ガンマナイフによる治療内訳

悪性腫瘍	74%
良性腫瘍	13%
血管障害	8%
機能的障害	5%

トモセラピーによる治療内訳

前立腺	63%	腹部	5%
胸部	10%	その他	5%
骨盤部	9%		
頭頸部	8%		

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ50
平成21年4月30日
日高病院病診連携室発行

4月 新入職常勤医師のご紹介

内　科

呼吸器内科医長
成清　一郎
群馬大学（平成2年卒）

日高病院では平成10年から外来診療をしておりました。今年度から病棟で入院患者様の対応を致しますのでよろしくお願い致します。

内科医長
石山　延吉
群馬大学（平成4年卒）

糖尿病や内分泌疾患を中心に診療をさせて頂きます。どうぞ、よろしくお願い致します。

外　科

外科医員
深澤　孝晴
群馬大学（平成12年卒）

地域や病院に貢献できるように診療をしたいと考えております。よろしくお願い致します。

外科医員
八巻　さやか
山形大学（平成14年卒）

乳腺・甲状腺外科の診療に少しでも携わることができればと思っております。よろしくお願い致します。

泌　尿　器　科

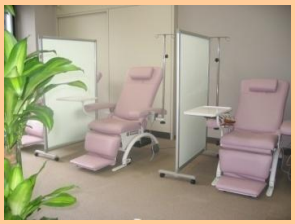
泌尿器科医員
藤塚　雄司
弘前大学（平成17年卒）

患者様のための医療を心がけでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

放　射　線　科

放射線科医員
神沼　拓也
群馬大学（平成17年卒）
ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰという日本でも数少ない機器がある日高病院で勤務でき光栄です。最先端の医療を提供しているという自負を持って頑張りたいと思います。

茂木先生が化学療法センター長に就任



経歴ほか	専門医・認定医など
もてぎ　まさひこ **茂木　政彦** 富山大学（昭和61年卒） 化学療法センター長 外科医長	日本外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器外科学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

本年4月1日より化学療法センターのセンター長となりました。地域のがん医療の発展に微力ながら寄与できるように努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

当院の化学療法センターについて簡単にご紹介いたします。平成19年4月より化学療法室開設にむけて準備を始めて、同年6月から実質的に稼働致しました。 当初は消化器がん、乳がんを中心に抗がん剤治療を開始し、開設1年6ヵ月時点で治療回数が300回に至りました。 現在は泌尿器科疾患や呼吸器科疾患の治療も可能となり、血液を除く各種がんの薬物治療が外来および入院で常時可能となっております。尚、化学療法導入窓口（診察）は各診療科となっておりますので病診連携室にご連絡頂ければ幸いです。

今後も地域の先生方からのご指導を賜りながら地域医療に尽力する所存でございますので、どうぞよろしくお願い致します。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ51
平成21年6月10日
日高病院病診連携室発行

大澤　清孝 副診療部長が病診連携室長になりました

大澤　清孝　群馬大学（S61卒）
病診連携室長
副診療部長　・　内視鏡外科部長

　前任者の増田先生が任期満了となり、大澤清孝が平成21年4月1日付けで病診連携室長を拝命いたしました。 当院は平成17年4月1日より群馬県知事から地域医療支援病院として承認され、地域医療の充実を目指して業務を遂行してまいりました。

　登録医の先生方からのご指導、ご協力を賜りながら3年の時が経ち課題も明瞭になってきております。今後は地域の先生方との意思疎通が図ることができる場を作り、さらなる地域連携強化に努めてまいります。特に、研修会やCPC、地域連携パスなどに重きをおき様々な企画運営をさせていただきたいと考えております。

　信頼、安心、さらに密度の濃い連携関係を醸成できるよう精進してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

当院認定看護師の紹介

　本年、当院では4名が認定看護師を取得し合計6名となりました。今号、次号でそれぞれの看護師や活動内容をご紹介致します。

糖尿病看護認定看護師：**1名**　がん化学療法看護認定看護師：**1名**　緩和ケア認定看護師：**2名**
皮膚・排泄ケア認定看護師：**1名**　集中ケア認定看護師：**1名**　　**合計：6名**

糖尿病看護認定看護師
メタボ・糖尿病治療センター
佐竹　明美

　糖尿病看護とは、糖尿病患者を生活者（糖尿病をもちながら生活する人）としてとらえ疾患の発症、悪化を防ぐと共にその人らしく健やかな生活を継続できるように、生涯続くセルフケアや療養生活を支援するものです。

　糖尿病看護認定看護師は「血糖パターンマネジメント技術」「フットケア技術」「糖尿病ケアシステム立案技術」を特化技術とし、生活調整、支援する実践能力、またさらなる糖尿病看護の質の向上を目指し指導、相談活動を展開していくことを責務としています。また、糖尿病看護における役割は一次予防から三次予防まで多岐にわたるものであり、その活動は施設にとどまることなく、地域全体、国民全体がその対象といえます。それらのことから地域医療支援病院においての糖尿病看護認定看護師の役割は大きいと考えられ、今後、研鑽をつみ貢献していきたいと考えております。

がん化学療法看護認定看護師
化学療法センター
徳満　葉子

　がん化学療法認定看護師は、がん化学療法を受ける患者と家族を支え、安全を守っていくことを使命とします。多くの場合、がんは長い経路をたどり多様な治療を必要とするためがん化学療法看護は、がん化学療法の治療期とその後のフォローアップ期、がん化学療法が治療の選択肢となった際の看護を専門としています。
現在は、化学療法センターで勤務をして抗悪性腫瘍剤の安全、安楽な投与および出現する有害事象を予測して患者様やそのご家族が自宅で対処できるように共に考え関わっています。

　今後は地域の皆様からのご相談にも対応していけるようにしていきたいと考えておりますのでご指導のほどよろしくお願い致します。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

Ｎｏ52
平成21年8月27日
日高病院病診連携室発行

病診連携通信

緩和ケアチームと緩和ケア認定看護師の紹介

本年、当院では4名が認定看護師を取得し合計6名となりました。
それぞれの認定看護師や活動内容をご紹介致します。
糖尿病看護認定看護師：**1名**　がん化学療法看護認定看護師：**1名**　緩和ケア認定看護師：**2名**
皮膚・排泄ケア認定看護師：**1名**　集中ケア認定看護師：**1名**　　**合計：6名**

がんと診断された患者様に対して早いうちから緩和ケアが提供できるようなシステムを作っていきたいと考えております。病院や在宅と生活の場が変わっても患者様が安心して緩和ケアが受けることができるよう地域連携にも力を入れていきたいと思います。

緩和ケア認定看護師
村岡　やす子

緩和ケア認定看護師は、主に患者様の様々な苦痛（身体的・精神的・社会的・霊的）を緩和するケアを専門としております。現在、当院では緩和ケアチームとして、患者・家族様と院内スタッフの橋渡し役を含めたコーディネートをさせて頂いています。院内外への啓蒙活動を積極的に行うようにしたいと考えています。

緩和ケア認定看護師
武藤　なつ美

第3回医療連携アンケートの結果をご報告します

平成21年5月に高崎安中二次医療圏の診療所を中心に医療連携アンケートを送付させて頂き、102診療所の先生方にご回答頂きました。 アンケートを送付させて頂きました先生方には、結果を同封させて頂きましたので、ご査収くださいますようお願い致します。
先生方からの貴重なご意見は、診療会議ならびに医局会で発表し周知させて頂きました。結果を真摯に受け止め、今後の院内体制の充実に役立たせるように致します。この紙面では、簡単にアンケート結果をご報告させて頂きます。

【当院に期待すること】について
第1位　紹介患者の受け入れ
第2位　救急患者の受け入れ
第3位　入院施設の利用
第4位　検査機器利用
第5位　逆紹介
第6位　専門スタッフの派遣

【当院への不満】について
第1位　入院を断られた
第2位　紹介患者を断られた
第3位　紹介患者の経過報告がない
第4位　連携室の対応が遅い
第5位　医師の専門分野が分からない
第6位　紹介患者が戻ってこない

【今後希望する研修会の内容】について
第1位　症例検討会・各診療科の疾患について
第2位　医療体制や情勢の総論的な展望について
第3位　糖尿病教室
第4位　介護保険や在宅ネットワークについて
第5位　医療安全対策や感染症対策について
第6位　栄養相談教室

～臨床病理検討会のお知らせ～

日　時：平成21年9月10日（木）　18時00分から19時30分
場　所：日高病院　6階大会議室
症　例：70歳代 女性　多系統委縮症　70歳代 男性　敗血症
臨床医：日高病院　内科主任医長（現健診センター長）　阿久澤　まさ子先生
病理医：群馬大学病態病理学 教授　中里　洋一先生　群馬大学病態病理学 助教授　田中　優子先生

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念:患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

Ｎｏ53
平成21年10月30日
日高病院病診連携室発行

病診連携通信

今号は、メタボ・糖尿病治療センターの取組み（フットケア外来・ヘルスアップランチ会）についてご紹介をさせていただきます。

フットケア外来について　～毎週金曜日　9:00～12:00　14:00～17:00　ﾒﾀﾎﾞ糖尿病治療ｾﾝﾀｰにて～

2008年4月より糖尿病合併症管理加算として看護師が行うフットケアについて診療報酬が認められました。
適切な治療、指導を行えば、足病変の悪化が抑えられると認められ看護師が行うケアについて有効であるというエビデンスがでたことによるものです。
当院のメタボ・糖尿病治療センターにおいて、患者様の誕生月に足の観察をさせて頂いています。
そこで、アキレス腱反射、タッチテスト、振動覚などをみることにより神経障害の有無について、また足背動脈の触知を確認して、しびれ間歇性跛行などの症状について聴取することにより下肢の閉塞性動脈硬化症など恐れがないか観察をしています。 さらに、視力障害の有無、家族の支援を受けられるかなど包括的にアセスメントを行い、足病変に対してハイリスクと判断された場合は医師へ情報提供し、医師の判断のもとフットケア外来への依頼をして頂くという流れになっています。
フットケア外来では、血流改善や皮膚の清浄を目的とした炭酸浴の施行、爪切り、フットマッサージなど、およそ1時間のフットケアを患者様に提供しています。普段は関心のなかった患者様もフットケアを受けることにより自分の足に興味を抱くようになり、日常生活においても足のセルフケアを行うという行動につながります。
今後も一人でも多くの患者様にフットケアを提供し、足を守ることを伝えていきたいと考えています。

ヘルスアップランチ会について　～毎月第4土曜日　11:00から日高病院6階　レストランにて～

当院の6階レストランにおいて、バイキング形式の食事を用意して、患者様が実際に食事を選択します。患者様は食事をとりながら管理栄養士から模範となる食事の選び方について説明を受け各患者様の選んだ食事内容を写真に収めます。外来日に写真を見ながら個別の食事指導を受けて頂いています。このことにより、自らの食生活の問題点に気づき、減量のための食事がどのようなものか具体的に学習することが可能となります。また、医療サイドも普段の食事内容を把握することにより、個別指導の際に有効な情報となり得ます。
参加された患者様からは非常に参考になると好評を頂いていますので今後も季節感など取り入れて楽しみながら学習できる会にしていきたいと考えています。

フットケア外来・ヘルスアップランチ会についてのお問合せ先・相談先　（ご紹介患者様の問い合わせ）
日高病院　TEL:027-362-6201　メタボ・糖尿病治療センター　看護師　佐竹　明美・田丸　裕子

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ54
平成22年2月8日
日高病院病診連携室発行

2月1日より新病棟を開設し34床を増床しました（急性期病床208床　回復期病床51床　：合計259床）

新病棟は腎不全科、総合診療科で構成（34床）されています。腎不全科においては透析療法を行っている患者様、これから透析療法を導入する患者様、保存期にあり透析導入を少しでも遅らせたい患者様、また総合診療科においては生命的危機状態にある患者様など多様で複雑な健康問題を抱えた患者様が入院してくることが予想されます。そのなかで、看護に求められることはフィジカルアセスメントを行い身体的な変化を予測できること、個々の患者様のヘルスニードを察知し、患者様の生活調整、セルフケアの確立への支援が提供できることにあると考えています。自ら看護実践をするとともに、それらを通しケアにあたる看護師の能力向上や患者様の気持ちに沿った看護が提供できるような人材育成に取り組んでいきたいと考えています。ひとりの力ではできないこともスタッフと協力して行うことにより達成されます。目標達成に向け医師やコメディカルと協働しながら築き上げていきたいと考えています。

2階南病棟看護師長　　佐竹　明美

心臓血管外科（ハートセンター）において【胸痛外来】【心雑音外来】を開設致しました

ハートセンターにおける【胸痛外来】【心雑音外来】の開設について

高齢化と糖尿病患者の増加に伴い、大動脈弁膜症や虚血性心疾患の患者様が増加しております。一方で症状が軽いため、患者様が精査を拒否したり、高齢との理由で放置するケースもあり、専門医に受診した際には病状が進行していることもあります。症状や徴候を外来の名称にすることで、患者様が専門医の診察を受けやすくし、より早期に適切な治療を受けて頂けるよう努力してまいりたいと考えております。
各先生方におかれましても、趣旨をご理解をいただき患者様へのご説明をお願いできれば幸いに存じます。

【心臓血管外科外来診察表】

	月	火	水	木	金	土
午前	町田		町田	大野	町田	大野
午後	胸痛外来（大野）				心雑音外来（新浪）	

【大野　英昭医師のご紹介】

1986年　東京女子医科大学病院　心臓血管外科入局
1987年　群馬循環器病院　心臓血管外科勤務
1989年　仙台循環器病センター　心臓血管外科勤務
1992年　東京女子医科大学心臓血圧研究所　助手
1993年　国立療養所東長野病院　心臓血管外科医長
1995年　綾瀬循環器病院　心臓血管外科勤務
1997年　国立病院機構横浜医療センター　心臓血管外科医長
2006年　関越中央病院　心臓血管外科部長・ICU部長
2008年　日高病院　ハートセンター長

【新浪　博教授のご紹介】

1987年　群馬大学医学部卒業
東京女子医科大学附属日本心臓血圧研究所　入局
1989年　米国 Wayne State University 留学
1991年　東京女子医科大学大学院博士課程　修了
1995年　豪州　Alfred Hospital　留学
1996年　豪州　Royal North Shore Hospital　留学
2004年　順天堂大学医学部心臓血管外科　助教授
2007年　埼玉医科大学病院心臓血管外科　教授
埼玉医科大学国際医療センター
心臓血管外科　教授

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

病診連携通信

Ｎｏ55
平成22年4月3日
日高病院病診連携室発行

施設アンケートを実施致しました

平成22年1月に高崎安中二次医療圏の施設様に連携アンケートを送付させて頂きました。
今後は施設連携も地域連携の一環として積極的に取り組んでまいります。アンケート結果の詳細は、ご協力をお願い致しました施設様に送付させて頂きます。

【当院に期待すること】について

第1位　救急患者の受入れ
第2位　電話での医療相談
第3位　施設職員向けの研修会、講習会
第4位　施設職員の心の健康、カウンセリング

【当院への不満】について

第1位　入院を断られた
第2位　救急患者を断られた
第3位　利用者の経過報告がなかった
第4位　退院時の指導が不十分

第7回　災害医療訓練終了　ご協力ありがとうございました（参加総数119名）

平成22年3月6日（土）に第7回災害医療訓練を実施致しました。実施にあたり、高崎医師会、高崎等広域消防局、各看護学校の方々に多大なご協力を頂きました。
今回は、高崎市内で大規模地震が発生（被災者30名）し、高崎消防司令室から被災者の受け入れ要請があったという設定でした。例年の訓練に追加し、マスコミや公共施設からの問い合わせに対する対応、記者会見など行い非常に緊張感のある訓練となりました。

腫瘍センター活用術（PET/CTの利用方法について）

腫瘍センターの予約方法についてご案内致します。まず、当院にお電話をいただき、氏名と生年月日を伺います。PET/CT撮影日時やトモセラピーの診察時間を決定し、速やかに予約票をFAXさせていただきます。

① 日高病院にお電話をしていただきます。*（TEL：027-362-6201）*
② その場で、検査や診察の日時を決定しお伝えいたします。
③ 患者様のお名前や生年月日を教えていただきます。
④ 紹介元医療機関の先生方の了承を得ることができれば、ご自宅などの電話番号をお聞かせいただく場合がございます。

① 検査日時やご予約時間・当日の注意事項などが記載されている予約票を速やかにFAXさせていただきます。
② 診療情報提供書と予約票を患者様にお渡しください。

以上で、予約終了です。

腫瘍センターはこの様なサービスも提供しています

● **訪問説明サービス**
初めての診察や検査を受けるにあたって、患者様が不安になってしまうケースもあるようです。
この様な、患者様に検査手順など説明をさせて頂いたり、パンフレットなどをお持ちして施設説明などをさせて頂くサービスです。

● **送迎サービス**
入院中の患者様がPET/CT検査などを受ける際、ご家族等がどうしても送迎できない場合もご相談ください。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

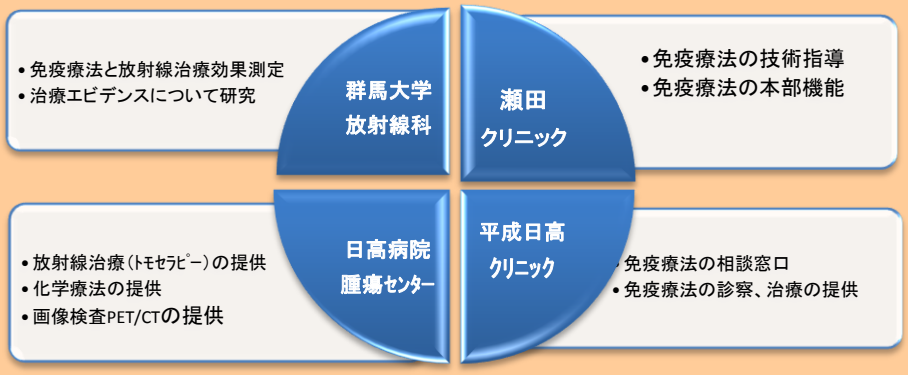
No56
平成22年5月31日
日高病院病診連携室発行

病診連携通信

平成日高クリニックにおいて免疫細胞療法を開始いたします

現代のがん治療では外科療法、化学療法、放射線療法が標準治療とされております。それら治療による完全治癒が望ましいのですが、副作用により身体が大きくダメージを受けてしまう場合も多く見られます。『免疫細胞療法』が注目を集めているのは、個々の症状に合わせた治療（活性化自己リンパ球療法、樹状細胞ワクチン療法樹状細胞ワクチン療法+α β T細胞療法）が可能なオーダーメイド医療であり、従来の標準治療法との併用による相乗効果も報告されております。

この様に、様々な効果が期待されている免疫細胞療法を群馬大学放射線科・瀬田クリニック（東京）・日高病院・平成日高クリニックによる連携体制で開始致します。 お気軽にご相談ください。



診察・治療医療機関
平成日高クリニック

診察日・時間
毎週木曜日　10：00～17：00

相談・予約窓口
電話：027-361-1215
担当：受付（金井・斉藤）

免疫細胞療法の情報
http:/www.j-immunother.com/

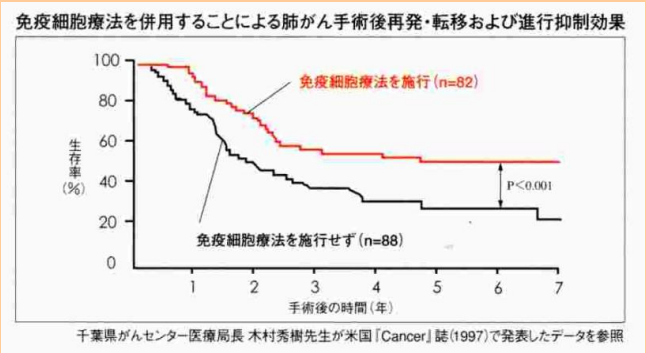
～　免疫細胞療法を担当する医師を紹介いたします　～

金子　亨 医師

【経歴】
昭和60年　新潟大学医学部卒業
昭和61年　新潟県立中央病院勤務
平成 2年　県立がんセンター新潟病院勤務
平成 4年　新潟大学医学部　産婦人科学教室
平成 6年　医療法人なごみ会　三井病院副院長
平成11年　医学博士取得　「AgNORs測定による卵巣悪性腫瘍の予後解
平成14年　新横浜メディカルクリニック（現 瀬田クリニック新横浜）院長

【免許・資格】
日本癌治療学会
日本免疫学会
日本産婦人科学会
日本免疫治療学研究会
日本産婦人科学会専門医
日本医師会産業医

免疫細胞療法は他治療との併用による効果が報告されています



千葉県がんｾﾝﾀｰ医療局長 木村秀樹先生が米国「Cancer」誌（1997）で発表したﾃﾞｰﾀ参照

免疫細胞療法は、ほかの治療と併用した際に治療効果が向上することが報告されています。左図は、肺がん手術後の免疫細胞療法の効果検証をしたものです。免疫細胞療法を併用した82名は5年後生存率54.4%、併用していない88名の場合は、33.4%と生存率に大きな差が認められています。

放射線治療との併用による効果も大きな期待をされているところで、医師の診断により患者様の病状に応じた当院の集学的治療を受けていただくことが可能です。

【　瀬田クリニックと共同で臨床研究を行っている病院　】

●東京大学大学院医学系研究科　●東京大学医学部付属病院　●東京医科大学病院　●名古屋大学医学部付属病院
●順天堂大学医学部　●国立国際医療センター　●横浜市立大学付属病院　●日本赤十字医療センター

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する。

Ｎｏ57
平成22年7月25日
日高病院病診連携室発行

病診連携通信

7月7日（木）から形成外科の外来を開設いたしました

形成外科は外科系診療科の中の一専門分野であることは、ご承知のとおりです。一般に「外科系診療科」は、(1)生命を救うこと（救命）、(2)痛みを除去すること（除痛）、(3)機能を回復すること（機能回復）、加えて(4)社会生活の質（QOL：quality of life）を向上させることを目的に、手術的治療を行います。この中で、形成外科は主として、機能回復とQOLの向上を目的とする専門外科です。形成外科には大別して二つの専門領域があります。一つは、組織の異常、変形や欠損などの「疾患」を治療対象とする「再建外科」であり、もう一つは、疾患とは言えないが、ご自身が大変気にしている微妙な形状を治療対象とする「美容外科」です。

再建外科は「生まれつきの、またはけがや癌などで変形したり失われた体の表面や骨の異常を、機能の回復のみならず形状も正常に近い状態に再建し、QOLの向上に貢献する」専門領域です。また、「美容外科」は、客観的には病気と認められない細微な形態変化を外科的に修復して、生活の満足度を向上させる専門分野と言えます。

形成外科で治療を受けた方々が、笑顔で再び社会生活に復帰してゆく姿を見ることが、形成外科を専門とするわたしたちの最高の喜びです。今後は、地域の先生方との連携を大切にして診療をさせて頂きますので、よろしくお願い致します。

診察・治療医師
医療法人社団日高会日高病院
形成外科　桑原　靖医師

診察日・時間
毎週水曜日　14：00～17：30

相談・予約窓口
電話：027-362-6201
窓口：病診連携室

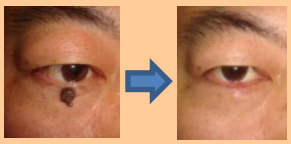
桑原　靖医師の紹介

2004年	埼玉医科大学医学部卒業
2006年	同大学病院　形成外科入局
2010年	同大学病院　形成外科外来医長
	静岡県立静岡がんセンター
	WOC認定看護師教育課程　非常勤講師

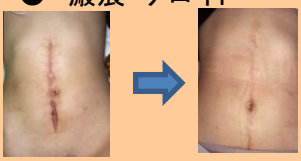
形成外科学会ホームページをご覧ください
http://www.jsprs.or.jp/

形成外科ではこのような疾患を診察させていただいております

● 皮膚・皮下腫瘍



● 瘢痕・ケロイド



● 難治性潰瘍

● 顔面骨折・鼻骨骨折
再建外科

● 眼瞼下垂症

● 陥入爪・巻き爪

診療部のモーニングカンファレンスについて

当院では、毎朝8時30分から診療部医師全員が集まり、モーニングカンファレンスを実施しております。内容は、前日の当直勤務により診察・入院した患者の申し送りや画像を用いたミニカンファレンス、本日の診療部の主な予定（手術・検査など）確認や研修医向けのミニレクチャーなどです。 診療科ごとの診察でなく、あくまでもチーム医療を推進するという強い信念のもと、今後も内容を充実させて継続したいと考えております。

地域の先生方からの紹介患者様のケースについてもこの様なカンファレンスの場で取り上げさせて頂いております。今後は、診療科ごとに地域の先生の出席が可能なカンファレンスの機会を設けていきたいと考えております。

診療部長　　高橋　正樹

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する

Ｎｏ58
平成22年8月10日
日高病院病診連携室発行

病診連携通信

『がん何でも相談』の窓口を開設いたします

手術、放射線治療、化学療法に代表されるがん治療法は着実に進歩し、最近ではこれら3大治療法の基礎として免疫細胞療法への期待も高まっております。しかし、一方では、がん難民と言われる患者様が増加しつつあるようです。がんが進行して積極的な治療を受けることができなくなり、主治医から見放されたと感じる患者様や現在受けいている医療に満足できないと感じる患者様など、結果的に頼るところを失い、いわゆる「がん難民」と言われる状況がつくられてしまうようです。

このような、現代のがん医療の問題を少しでも解決するために、「セカンドオピニオン外来」とは質を異にした「がん何でも相談」の窓口を開設いたしました。がん患者様とそのご家族の声に耳を傾け、理解し、様々な角度からの支援をできるよう努めていきたいと考えております。

腫瘍センター長　岡崎　篤

岡崎センター長の経歴

1977年	群馬大学医学部卒業　放射線医学教室入局
1978年	群馬大学医学部附属病院　放射線科助手
	群馬県立がんセンター　放射線診療部
1981年	前橋赤十字病院　放射線科
1983年	群馬大学医学部附属病院　放射線科助手
1985年	関東逓信病院（現、NTT東日本関東病院）　放射線科医長
1997年	虎の門病院　放射線科部長
2010年	日高病院　腫瘍センター長

日本医学放射線学会専門医
日本放射線腫瘍学会認定医
日本乳腺学会認定医
日本核医学会専門医
PET核医学認定医

- 担当医師
  腫瘍センター長　岡崎　篤
- 診察日・時間
  月・火・木・金曜日　午前10:00
- 相談・予約窓口
  電話：027-362-6201
  窓口：病診連携室
- 費用は無料です。（原則60分）

【各部門の協力体制】

がん何でも相談窓口では、必ず岡崎医師が相談にのらせて頂きます。ご相談の内容に応じて、がんに精通している看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカーが継続して対応させて頂きます。
尚、該当診療科へのご紹介などもさせて頂いておりますので、お困りの患者様がいらっしゃいましたら、お気軽にご利用ください。当院への受診経歴などは、一切問いません。

当院の腫瘍センターについて

腫瘍センターの機能

腫瘍センター
- 各診療科（診療部）
- ガンマナイフセンター
- 放射線治療部（ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰ）
- PET／CT画像診断部
- 外来化学療法ｾﾝﾀｰ

当院の腫瘍センターは各診療科（診療部）、ｶﾞﾝﾏﾅｲﾌｾﾝﾀｰ、放射線治療部（ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰ）、PET／CT画像診断部、外来化学療法ｾﾝﾀｰで構成されており、先進的に集学的治療を施せるよう、様々な機能を集約しております。
平成日高クリニック（日高会グループ）においては、免疫細胞療法を取り入れ治療の選択肢を広げて様々なニーズにお応えできるよう体制を整えております。

化学療法ｾﾝﾀｰ

ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰ

治療操作室

腫瘍ｾﾝﾀｰ待合室

PET／CT

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する

Ｎｏ59
平成22年10月27日
日高病院病診連携室発行

病診連携通信

慢性腎臓病の地域連携について

2007年4月の第5次医療法改正により、各々の医療機関の機能に応じた医療連携を行い、疾病別に治療管理を実践していこうとの方向性が打ち出されております。

しかしながら、腎臓専門医は全国に3000人程度にとどまっており、すべての腎臓病患者様に対して十分な時間をかけて診療することは不可能な状況です。当院では慢性腎臓病（CKD）の患者様を、地域の先生方とご一緒に診察できるシステムを構築し、地域医療に貢献したいと考えております。先生方のご指導とご協力をお願い致します。

腎臓内科主任医長　筒井　貴朗
腎臓内科医員　溜井　紀子
腎臓内科医員　岩渕　裕子

【腎臓内科の紹介対象患者】
① CKDステージ2以上の慢性腎臓病の方
② 尿蛋白陽性または、尿蛋白潜血ともに陽性の方

お問い合わせ
日高病院　病診連携室　TEL：027-362-6201
電話でご予約をたまわります

【ご紹介いただいた際の流れ】

ご紹介いただいた患者については、腎臓機能障害の原因精査を行います
▼
症例に応じて腎生検を施行し治癒を目指します
▼
進行を止めることができない腎臓機能障害については、機能保持を目指した治療を行います
▼
下記のような指導を行い、ご本人・ご家族の自己管理を徹底することで、腎臓病の経過を改善し得ることを理解して頂きます

- 慢性腎臓病学習入院
- 食事指導
- 投薬調整
- 腎臓病教室の参加

腎臓病教室の様子
日高病院6階大会議室
（平成22年10月16日）

状態が落ち着いて、治療方針が決定するまでの間、数か月～半年程度は当院で加療致します。その後は、原則的に紹介元医療機関の先生方に検査・投薬などお願い致します。
3ヵ月 ～ 12カ月に一度当科を受診していただき、診察・検査の結果から、栄養指導や投薬調整を行います。残念ながら腎機能障害が進行してしまう症例では、CKDステージ5となった時点で当院に治療をお任せいただき、腎代替療法（透析、移植）の準備を開始致します。

【慢性腎臓病学習入院の内容】
① 慢性腎臓病の進行遅延を図るべく、生活習慣改善や治療の調整を試みます。
② 血圧管理の強化：腎機能障害の進行を抑える適正な血圧管理を行います。
③ 食事療法の体得：腎臓病の食事を実際に召し上がっていただき、管理栄養士による指導により食事療法の基礎を習得していただきます。
④ 腎臓の働きや現在の腎機能障害の状況、進行抑制のための方法、将来の腎機能障害の進行予想、等を、医師、看護師からなるチーム体制で、指導を行います。
⑤ 検査データの見方、治療薬の役割等を説明・指導します。
⑥ 動脈硬化関連検査：
慢性腎臓病では、動脈硬化性疾患を発症しやすいので、心臓超音波検査、末梢動脈脈波検査などを行います。
⑦ 理学療法士より腎機能に見合った運動療法を指導します。
⑧ 医療ソーシャルワーカーから、透析導入になった際に受給可能な社会保障についてお話します。
⑨ 入院期間は原則として6日間です。
入院中に予定外の検査・治療が必要な場合、入院期間が延長となる可能性があります。

高崎市中尾町886番地
TEL 027-362-6201
FAX 027-362-0217

病院理念：患者の満足を第一に考え質の高い医療を提供する

病診連携通信

Ｎｏ60
平成22年12月20日
日高病院病診連携室発行

～ 腫瘍センター特集 ～
最新放射線治療機器【トモセラピー】について

Tomo Therapy

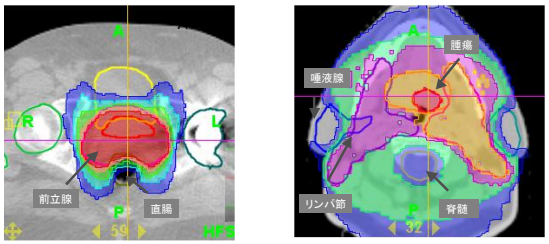
今回は、日高病院腫瘍センターの放射線治療部とPET／CT画像診断部についてお知らせ致します。

放射線治療部には治療装置として、全身の病巣に集中照射が可能なﾄﾓｾﾗﾋﾟｰが導入されました。【ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰ】は数年前にｱﾒﾘｶで開発され、CTと放射線治療装置が一体となっている極めて精密な治療機器です。

【ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰ】の第一の特徴は、治療機器でありながら、病巣の位置を確認するためのCT撮影ができることです。このため、病巣の位置を確かめてから実際の治療を行うので、正確に病巣に照射することができます。第二の特徴は、がんの形状にあわせるとともに、正常な組織を避けながらCT撮影のように装置が回転しながら照射できることです。正常組織を避ける能力が高いので、副作用が少なくしかも、病巣に正確に照射することが可能です。(IMRT=強度変調放射線治療)

現在、ﾄﾓｾﾗﾋﾟｰによる治療適応は、直腸や膀胱を避けて照射する必要のある【前立腺がん】など骨盤内腫瘍、唾液腺や脊髄を避けて照射する必要がある【頭頸部がん】などがあります。基本的には初期の小さい腫瘍まで全身のがんに利用できます。従来の放射線治療に比べると、がん病巣以外に照射される放射線量が圧倒的に減少したため、副作用も軽減されます。

保険適応され入院日数も短くて済むため、経済的な利点も非常に大きいものです。また、外来通院も可能ですので、生活の質を維持しながら、治療ができることも大きな魅力のひとつです。



A:前立腺癌の治療．近くにある直腸をさけて，前立腺に照射．
B:頭頸部癌の治療．唾液腺や脊髄をさけて，腫瘍とリンパ節に照射．

放射線治療部位

- 頭頸部腫瘍及び脳動静脈奇形
- 脊髄動脈奇形
- 食道癌、乳癌、肺癌など
- 肝臓癌、前立腺癌、膀胱癌など

【お問い合わせ】
日高病院　病診連携室
電話：027－362－6201
「がん何でも相談」も随時受け付けております。

information　～微小な腫瘍を発見することができます～
地域の先生方へ「がん検診」のおすすめ

先生方やご家族・職員様に「がん検診」をお受けいただき、健康管理にお役立てください。
詳細は、下記のお問い合わせ先にご連絡をください。

PETとは「ポジトロン断層撮影法」と呼ばれる画像診断です。がん細胞の代謝機能を調べることで、早期にがんの発見ができる検査です。フルオロデオキシグルコース（FDG）の集積度は腫瘍細胞の増殖速度、悪性度、腫瘍細胞量と相関するため、治療方法の選択や病期確認など汎用性に優れています。
また、PETとCTが一体型となったPET-CTでは、PETによる生体の機能画像とCTによる病態画像を重ね合わせた鮮明な画像を一度で撮影できるため、病変部の位置や正確な診断を速やかに行うことができるようになります。2次元、3次元の併用などフレキシブルな画像処理によって、微小ながんの発見や良性・悪性の適切な診断が可能であり、より正確な治療への貢献を致します。

PET／CT 【Aquiduo】

お問い合わせ　日高健康管理センター　電話：027－362－1944